



古民家で楽しむひな祭り～押絵雛～



会 期 平成31年3月1日（金）～4月7日（日）
（月曜日休館 月曜日が休日の場合は翌日休館）
会 場 重要文化財馬場家住宅 松本市内田357-6 電話0263-85-5070
観 覧 料 大人個人300円 （中学生以下、松本市内の70歳以上は無料）
開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

松本まるごと博物館連携企画展

松本の春、見つけた！ 2019

「古民家で楽しむひな祭り」

「押絵雛」

本展は、当館のほか松本市立博物館、松本市はかり資料館と3館連携により、松本の春の風物詩を紹介する企画展です。

押絵は正月の羽子板でご存知の方も多いと思いますが、押絵雛とは、厚紙を切った型に綿をはさんで布で包み、張り合わせた立体感のある絵で作られた雛人形です。松本地方では江戸時代末から明治期にかけて多く作られました。

江戸時代の終わり頃の旅行書『善光寺道名所図会』に紹介されている松本名産の「ひいな」は、押絵雛をさしたともされています。

春の訪れを告げるにふさわしい華やかな押絵雛が馬場家住宅を彩ります。幕末の本棟造りの建物の中で、松本伝統の押絵雛をお楽しみ下さい。

★関連事業

■甘酒サービス

月遅れの雛祭りを、甘酒を飲みながら押絵雛と一緒に過ごしてみませんか。

■日時 4月3日(水) 午前9時30分～

■場所 重要文化財馬場家住宅

■参加料 通常観覧料のみ

※甘酒がなくなり次第終了

(展示協力 ベラミ人形店)

★まる博連携展

■松本市立博物館「月遅れのひな祭り展」

電話 0263-32-0133

■はかり資料館「町屋で楽しむ雛祭り」

電話 0263-36-1191

※詳細は各館にお問い合わせください。

★馬場家住宅の次回展示は

■松本押絵雛による端午の節句

松本地方では、桃の節句だけでなく端午の節句にも押絵雛を飾る風習があります。馬場家住宅では4月27日(土)から押絵雛の展示をメインに端午の節句展を開催します。

桃の節句とは一味違った、多彩な種類の押絵雛をご紹介します。

多くの皆さんのご来館をお待ちしています。

松本市立博物館分館

重要文化財 馬場家住宅

開館時間 午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)

入館料 大人個人300円、団体200円
中学生以下、松本市内70歳以上の方は無料

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

交通

バス 松本バスターミナルから寿台線または松原線「寿台東口」下車、南へ1km

自動車 松本駅から約30分、塩尻北ICから約10分

問合せ先 TEL・FAX 0263-85-5070

E-mail baba@city.matsumoto.lg.jp

URL <http://www.matsu-haku.com/>

